

# ともえ



繁栄を  
あなたと育てる  
商工会議所



谷地頭切り通し

No. 120

函館商工会議所報  
1991 — 6月号

はこしんは豊かな暮らしと  
確かな未来の実現に  
お手伝いいたします。

みなさまの



**はこしん**

**函館信用金庫**

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521(代)			

## Lhくみカードローン

20万円から200万円まで

**使い方自由**

**らくらく返済**

**担保・保証人不要**

★詳しくは窓口へ  
お問い合わせ下さい。

あなたの預金で郷土を拓く。



**函館商工信用組合**

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●とせとせ● 120号目次

視	点	1
会議所の動き	.....	2
調査レポート	.....	6
・地域の景気(四月)	.....	6
・平成二年度	.....	8
函館地域の経済動向	.....	8
誌	上講演	10
・「店には商品の他にも顔があり」	.....	10
共済推進コーナー	.....	12
・特定退職金共済制度	.....	12
ティータム	.....	13
・首導犬について、詰碁・詰将棋	.....	13
アドバンスコーナー	.....	14
・保証人の法的責任とその留意点	.....	14
Q & A	.....	16
・みんなの相談室	.....	16
ご案内	.....	20
・経営安定特別相談室	.....	20
・新入会員紹介、ミニ経済情報発刊	.....	20
告知板	.....	18

◇今月の表紙  
谷地頭切り通し

青柳町電停から谷地頭電停に至るまでの間は坂になっており、谷地頭切り通しといわれたところである。切り通しというのは、山や丘などを切り開いてつくった道路のことをいう。谷地頭切り通しは、明治十一年(一八七八年)から同十四年にかけて開削した道路で、その工事は幅五十間(約九一メートル)深さ九尺(約二・七メートル)、長さ二百間(約三六四メートル)にわたって行われ、その掘った土は、谷地頭の湿地を埋めるのに利用された。

●視 点

野山もすつかりと美しい緑につつまれ、日中二十五度を越す日もあり、すがすがしい初夏を迎えました。

会社では、本年度入社の新人も、ようやく雰囲気慣れにきています。しかし、来年の求人を始めなければならぬ時期は間もなくです。

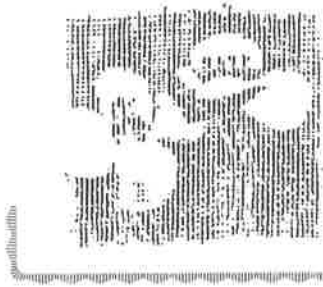
昨年度の有効求人倍率は、当地でも〇・六八となり、最近の三月、四月は〇・八を越え、新卒のみですと一・〇をとうに越し、労働市場は今年も売り市場となっています。

所で最近、労働力需給のミスマッチの拡大が、労働市場を厳しくしている原因の一つといわれています。これには二つの要素があり、一つは年齢別のミスマッチであり、もう一つは職種別のミスマッチです。前者は、企業側が従来からの年功序列的な賃金体系、体力的な見地、情報処理等への適応力などから、若年層を重視しているのに対し、求職側では五十五才以上人口の増加により、これら高齢者の就業意欲が高まってきていることによるものです。

後者では、情報処理関係の技術職、そして建設関係等の単純労働職などが特に不足しており、高度な知識を要する分野と、いわゆる3Kといわれるような単純労働分野の両極端において逼迫度が高くなっていることです。

今年も、このような状況の元では、会社のPRを常日頃から十分に行い、求人もできる限り早くやれるように準備するとともに、一方、Uターンなどの中途退職者や高齢者の採用を、前向きに検討する必要があります。

# 会議所の動き



## 第41回全道商工会議所大会

### 小樽市で開催!!

第四十一回全道商工会議所大会は、去る六月四日小樽市で開催され、道内四十一商工会議所から正副会頭、議員等六百余人が出席して、各地で直面する諸問題について活発な討議が行われました。本所からは川田会頭はじめ四副会頭、議員等十四人が参加しました。

午前中に開催された四分科会（金融税制、商工振興、運輸観光、開発促進・産炭地域振興）では、各地からの提出議案について討議



▲祝辞を述べる日商石川会頭

がなされました。本所関係では、

川田会頭が開発促進・産炭地域振興分科会の委員長を務めたほか、運輸観光分科会では、松本副会頭から本所がかねてより強く陳情してきている北海道新幹線（青森―札幌間）の早期着工とともに、東北新幹線が青森まで延長されるときには、青函トンネルを活用し函館までの同時開業を図るべきであるとの強い要望がなされました。

また、金融税制分科会では、高野副会頭から北海道東北開発公庫の機能をより一層の拡充強化の必要性を訴えるとともに、本店についても政府決定のとおり早急に函館市に移転すべきであるとの強い要請がなされました。

さらに、開発促進・産炭地域振興分科会で下郡山副会頭から、北海道における札幌圏への一極集中を是正させるため、各都市に対する早急な支援策とともに過疎対策

の強力な推進、支庁長の権限強化など支庁制度の抜本的改革・副知事の地域分担制、道議会議員定数の見直しなど北海道の均衡ある発展に必要な諸施策の実行について強い要望がなされました。

午後からは、日商・石川会頭をはじめ関係官公庁など来賓の列席のもとに大会が開かれ、主催者である道商連・鈴木会頭挨拶の後、地元小樽の川合会頭を議長に議事が進められました。

本大会では、まず午前中に討議された議案について四分科会の委員長よりそれぞれ報告が行われ、二十九件に及ぶ全議案と特別提案二件が満場一致で議決されました。最後に、全道商工会議所は、持てる機能を最大限に発揮し、地域商工業の改善、発達に一層の努力を傾注するとの宣言を行い、さらに本日決定された諸事項の実現を期しての決議を採択して盛会裡のうちに閉会しました。

なお、今大会において決定された議案は、遂次関係機関に陳情・要望することになっています。

# 函館空港

## 国内幹線空港へ向け前進

### 函館空港・A級空港へ

函館空港整備促進連絡協議会の総会が、去る五月十三日函館市役所で開催されました。

同協議会は、関係機関が協力し、函館空港及びその周辺の総合的な整備促進をめざすことを目的として設置され、本所の川田会頭も構成員の一人となっています。



▲開港30周年を迎えた函館空港

総会では、平成二年度の事業報告及び収支決算が異議なく了承された後、引き続き平成三年度の事業計画・収支予算について審議が行われ、いずれも異議なく承認されました。今年度の主な事業計画には、函館―福岡間の航空路線の新設、滑走路三千メートルの早期完成、更には明年度の函館空港関連予算の獲得など、重要な陳情事項も盛り込まれています。

また、本年は函館空港開港三十周年に当たることから、記念事業を実施することも決定しました。

**空港施設変更に関する公聴会**

函館空港の施設変更に関する公聴会（運輸省航空局主催）が去る六月十日、市民会館小ホールにおいて行われ、本所から高野副会頭が出席し、函館空港の滑走路延長に係わる施設変更について次のような見地から賛意を表わす公述をしました。

「大都市圏より遠く離れている当地域は、まず高速交通体系の整備が重要課題であり、航空路の持

つ使命には重大なものがある。近年増加している観光客やビジネス客の多くは航空路を利用しており、函館経済に及ぼす影響は極めて大きい。

さらには、千歳空港の国際化が進むなかで、その代替空港としての役割にも大きなものがある。また羽田・大阪空港の便数制約から、利用客の増加に対する機材の大型化は避けられない状況下で、特に冬期間厳しい気象条件が見られる当空港としては、三千メートルA級空港への整備は、まことに時宜を得たもので、一刻も早い完成が望まれる。」

### 函館空港運用時間延長決定

平成二年度における函館空港利用客は、大阪便の再開等もあって百七十九万八千人に達し、前年度

の百五十一万人を二十八万人、率にして十九・一%増と極めて高い伸びを示しました。

こうした状況下にあつて、去る五月三十一日、運輸省は函館空港の運用時間を一時間半延長することを決定しました。これにより、幅の広いダイヤを組むことが可能となり、早くも利用者から熱い期待が寄せられています。

また、函館空港は本年二月の新庁舎完成に続き、本年十一月にはレーダー管制となることが決定しています。さらに平成七年度を目途に、A級空港としての滑走路三千メートル延長工事など、国際便乗り入れにも十分対応できる空港づくりに取り組んでおり、千歳空港に次ぐ国内幹線空港として着実に整備が進められてきています。

## 会費ご納付のお願い

ことしは本所議員改選の年です。

選挙権・被選挙権については、年度会費および特定商工業者負担金を納付されなければ行使することはできませんので、ご注意ください。

まだご納付されていない場合は、お早目に納付手続きをされませうようお願い申し上げます。

## 本所議員会

### 先進地視察実施!!

大阪湾の沿岸地域では、広大な人工島などを造成し、ここに技術、国際貿易、情報機能等を備えた複合都市を開発しようとする大規模プロジェクトが進められています。

こうした状況を視察するため、本所議員会では大阪・神戸視察研修会を五月十四日から三日間の日程で実施、本所から若山議員会長

を含む十三名、函館市からは木戸浦市長ら三名が参加しました。

大阪市では、「テクノポート大阪」計画の一部として再開発された天保山埠頭に、昨年七月オープンした「天保山ハーバービレッジ」

において、開発主体である大阪ウオーターフロント開発(株)の担当者と懇談、その後、世界最大級を誇る巨大水族館「海遊館」と併設の

「マーケットプレイス」を視察しました。

また、神戸市では旧国鉄貨物駅跡地に、未来型情報都市をめざして建設されている「神戸ハーバーランド」の計画担当者と、開発手法等について懇談し、その後メリケン波止場の「海洋博物館」などを視察しました。

当市においても、総合的港湾空間の創造をめざした総合計画が策定されており、この度の研修は街づくり、港づくりに向け大変有意義なものとなりました。

## 新卒者に地元企業をPR '91企業ガイドブック発刊

昨今の全国的な求人難は当地域にとつても例外でなく、労働力の確保が企業経営の大きな問題となっております。

特に当市の場合、求人活動が本州企業に比べ遅すぎるといふことと、求職側である各学校の就職指導担当教師並びに地元就職志向の学生・生徒が、地元企業情報を充分に把握していないとの指摘もあり、本所では求人・求職側の相互

理解を深める一助にしていたため、昨年六月、はじめて「'90はこだて企業ガイドブック」を発刊し、市内はもとより渡島・松山両管内、青森市等の中学校・高校・大学・専門学校へ配布しましたが、本年もこの六月、昨年同様各学校へ配布致しました。

本所と致しましては、「企業ガイドブック」については、次年度以降も順次掲載企業数や紹介内容

等の充実を図り、人材確保の一助として発刊していく予定であり、また併せて地元企業の労働環境整備や改善についての関連事業を積極的に推進していくこととしております。

本年度も求人難は続く見込みですので、各企業におかれましては、従来より函館職業安定所や学校側からの求人活動は早目に行つてほしいという指摘に充分留意され、計画的な日程のもとに平成四年三月の新規卒予定者等を対象にした、積極的な運動を早目に展開されるよう強く望む次第です。

なお、函館市では当地域の厳しい雇用情勢に鑑み、函館地域人材確保推進協議会を発足させることとなっており、本所もこれに参画し、人材確保について多面に亘り対処することにしております。



▲神戸海洋博物館で説明を受ける視察団



▲企業情報満載の企業ガイドブック



事務局日誌

5月

- \* 正副会頭会議
  - 8(水) 第68回正副会頭会議
  - 27(月) 第69回正副会頭会議
- \* 会議 (道商連)
  - 10(金) 第144回全道商工会議所専務理事・事務局長会議
- \* 会議 (日商)
  - 28(火) 平成3年度中小企業景況調査担当者会議
    - ㊦ 小企業等改善資金金融制度に係る幹事会議所会議
- \* 審査会
  - 21(火) 小企業等経営改善資金の審査会
- \* 諸会議
  - 2(木) 第2回管理職会議
    - ㊦ 函館市港湾振興会平成3年度第1回役員会・総会
    - ㊦ 婦人会総務委員会
  - 8(水) 正副会頭と常議員との懇談会
  - 9(木) (社)函館観光協会通常総会・懇親会
    - ㊦ 議員会役員会
    - ㊦ 婦人会役員会
    - ㊦ 函館圏企業誘致推進協議会幹事会
  - 10(金) 第14回北海道生命共済振興会総会
    - ㊦ 函館特産食品工業協同組合総会・懇親会
  - 12(日) 第22回箱館五稜郭祭記念式典
    - ㊦ 湯川商店街振興組合第11期総会・懇親会
  - 13(月) 函館空港整備促進連絡協議会
    - ㊦ 全国観光土産品公正取引協議会函館大会 実行委員会
  - 14(火) 小規模企業振興連絡協議会役員会
  - 15(水) 箱館五稜郭祭募金委員会
  - 16(木) 北海道新幹線建設促進道南地方期成会理事会
    - ㊦ (財)テクノポリス函館技術振興協会監査
    - ㊦ 函館市自衛隊協力会総会及び防衛講話
    - ㊦ 日ノ経済交流セミナー・懇親会
    - ㊦ 婦人会定時総会・懇親会
  - 17(金) 平成3年度函館圏企業誘致推進協議会総会
    - ㊦ アメリカ公使一行表敬訪問
    - ㊦ 函館経営者協会定時総会
    - ㊦ 函館日米協会総会・祝賀会
  - 20(月) 函館信用金庫総代会・懇親会
  - 21(火) 四共済受託幹事会社事務担当者連絡会議
    - ㊦ 藤川大阪税関長講演会
  - 22(水) 商工組合中央金庫総代会
    - ㊦ 函館都心商店街振興組合通常総会・懇親会
  - 23(木) 青函インターブロック交流圏構想推進協議会推進委員会
    - ㊦ 五稜郭商店街振興組合平成3年度通常総会・懇親会
  - 24(金) (財)日本関税協会函館支部総会及び講演会
    - ㊦ 郷土芸能函館太鼓振興会運営委員会
    - ㊦ 箱館五稜郭祭・新都心五稜郭協議会合同懇親会

- 27(月) 国立函館大学誘致促進期成会理事会・総会
  - ㊦ 函館中国经济促進協会総会・講演会
- 28(火) 郷土芸能函館太鼓振興会役員会・総会
  - ㊦ (財)テクノポリス函館技術振興協会第1回理事会
  - ㊦ (社)函館地方法人会通常総会・懇親会
- 29(水) 函館市の交通事業を考える市民懇談会
  - ㊦ (協)函館専門店会通常総会・懇親会
  - ㊦ 函館機械金属造船工業(協)連合会総会・懇談会
  - ㊦ 明治生命保険(相)年金共済打合せ会議
- 30(木) 函館卸商連盟正副会長会議
  - ㊦ 第1回固定資産評価審査委員会
  - ㊦ 平成3年度北海道中小企業団体中央会道南支部総会
  - ㊦ 函館物産協会定時総会・懇親会
- 31(金) 函館市亀田・銭亀沢両商工会と本所との事務局打合せ
  - ㊦ 北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会総会

- \* 講習・催物
  - 2(木)・7(火) 複式簿記講習会
  - 8(水) 経営相談
  - 10(金) 複式簿記講習会
  - 14(火) 〃 (修了式)
  - 15(水) 発明相談
  - 17(金) 複式簿記講習会(受験コース)
  - 21(火) 〃 〃
  - 24(金) 〃 〃
  - 〃 法律相談
  - 28(火) 複式簿記講習会(受験コース)
  - 31(金) 〃 〃
- \* 刊行物
  - 所報「ともえ」No.119(5月号)発行・'91ミニ経済情報はこだて
- \* 相談・診断
 

金融	56	税務	25	経理	10	経営	10
労働	3	取引	1	その他	1	計	106
- \* 貸書
  - 室 25
  - 受信 192
  - 発信 20
- \* 検定
  - 12(日) ワープロ4級検定試験
  - 18(土) ワープロ2級検定試験
- \* 慶弔・その他
  - 9(木) 四共済受託幹事会社第1回ゴルフ例会・懇親会
  - 11(土) 箱館戦争戦没者供養祭
  - 12(日) ライオンズクラブ第37回地区年次大会式典
  - 14(火)~16(木) 議員会視察旅行
  - 15(水) 函館レジャーサービス(株)「サンランド函館」オープン披露
  - 17(金) 函館警察官友の会役員会・定時総会
  - 18(土) 隊友会函館支部連合会総会・懇親会
    - ㊦ 箱館五稜郭祭維新パレード
  - 19(日) 〃
  - 21(火) (株)カネモトホテルパコ函館 松井社長表敬訪問
  - 22(水) 日本化学飼料(株)代表取締役社長川田寛日本港協協会より 港湾功労者表彰
  - 23(木) 日本団体生命保険(株)営業部長野見山氏表敬訪問
  - 28(火) 第2回地方議会シンポジウム

69年の伝統と信用を誇る

# 早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 3946-0531 <代表>

発明相談 7月17日水曜日午後1時から午後5時まで。函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっておりますので、商工会議所相談課(23-1181・内線63番)にお申し込み下さい。

背景にフル生産を続行。また合板では、高級薄物製品主体にますますの出荷が続けているほか、建材向け厚物合板の生産ウェイトも漸次引き上げている。段ボールは、加工食品・春野菜向けを中心に高操業を持続。一方、漁網では受注鈍化を映じ引き続き前年を下回る生産となっている。

#### (4)建設関連

市内新設住宅着工は、持家等の落ち込みから4か月連続して前年を下回っているものの、公共事業の発注が港湾工事主体に本格化（管内主要5官庁の4月中発注額前年比+2.4%）しているため、土木・建築筋の手持ち工事量は引き続き高水準を維持している。

#### (5)農 漁 業

春野菜の出荷は総じて順調に推移、また主力水稻ほか多くの作物も平年並みからやや良の生育状況となっている。

近海マス漁は、本格シーズン入り後も引き続き低調に推移。

#### (6)消費関連

4月中の市内大型小売店（10か店）売り上げは、好天に恵まれ春物衣料が順伸したほか、家庭用品等が伸びを高めため、全体では前年比+3.8%の増加。5月入り後も、初夏物衣料の出足が早いほか、婦人用アクセサリー等身回り品がますますの売れ行きを示している。一方、耐久消費財では、4月の乗用車販売が一時的に前年を上回っ

た（前年比+3.9%）ものの、家電販売はヒット商品不在のため引き続き盛り上りに欠ける展開。

この間、観光・レジャー面をみると、ホテル、観光施設では入り込み客の増加からゴールデンウィーク中心に前年を上回る賑わいをみている。こうした中、観光関連筋の中には宿泊施設、レストラン等の拡充を図る動きが目立っている。

### 3.金融事情（4月中）

実質預金は、大口定期等自由金利預金が金利低下等を映じ前月に引き続き不冴え裡に推移したことなどから、月中50億円の減少となった（前年152億円増）。一方、貸出しも設備需資等が引き続き盛り上がり欠けるほか、前月末休日高止まり要因の剥落等から、月中307億円と前年（123億円）を大幅に上回る減少となった。

この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、短プラの引き下げを映じ月中△0.038%と3か月振りに低下した。

銀行券は、観光客の入り込み増による行楽資金の順調な還流等から、月中19億円と前年（42億円）を下回る発行超となった。

財政収支は、資金運用部資金貸付の増加にもかかわらず、郵便局が前年の大幅払超から受超に転じたほか、土地売却等による租税の受入れも多額にのぼったため、月中12億円の小幅受超と前年（払超178億円）とは様変わり動き。



(平成3年5月30日発表)



—— 日本銀行函館支店 ——

### 1. 概況

最近の管内景気を見ると、企業の売り上げ・生産は内需の底堅さを背景に引き続き緩やかな増勢を辿っており、雇用情勢も引き締まり傾向を続けるなど、総じて堅調裡に推移している。

すなわち、製造業では、一部に受注鈍化の動きがみられるものの、電子部品、セメント等がフル生産態勢で臨んでいるほか、水産加工、乳製品、造船等でも、高めの生産水準を維持している。一方非製造業では、建設は、住宅需要が引き続き前年を下回っているが、公共工事の発注本格化もあって繁忙裡に推移。また個人消費も、乗用車、家電販売が盛り上がりや欠く展開となっているが、百貨店売り上げは好天に恵まれたことなどから順伸、観光関連でも、ゴールデンウィーク中心に好調な入り込みが続いている。

こうした状況下、水産加工、卸売、サービス業等の中では、先行きの増収予想・人手不足対応等を背景に今年度設備投資計画を具体化する動きが徐々に増えてきている。

4月の金融動向を見ると、預金が自由金

利預金等を中心に不冴え裡に推移しており、また貸出しも、設備需資が盛り上がりや欠けること等から引き続き伸び悩みの動き。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は短プラの引き下げを映じ小幅ながら低下した。

### 2. 主要業種別動向

#### (1) 機械

半導体では、次世代製品等を中心にフル生産を維持しており、臨時工採用にも引き続き前向き。水晶振動子も、国内携帯電話向け需要が堅調なことに加え、対米向け輸出も持ち直しているため増産態勢を続行。また造船では、修繕船、陸上機械受注が官公庁向け主体に活発なほか、新造船建造も順調裡に推移しているため、現有能力一杯の操業となっている。一般機械は、東南アジア向け輸出が鈍化傾向にあるものの、国内需要が底堅く推移していることから総じて高めの生産を維持している。

#### (2) 食料品

水産加工では、コンビニエンスストア等からの引き合い増を背景に引き続き順調な出荷を続けているほか、乳製品でも、需給タイトな粉乳やバター等を中心に生産、出荷は高水準で推移。飼料・魚油では、原魚手当の端境期に伴い低操業となっている。こうした中、水産加工を中心に人手不足対応等から合理化投資に意欲的に取り組む先が多い。

#### (3) その他製造業

セメントは、好調な国内建設関連需要を

人に対し13人、建設業2,502人に対し509人、製造業が4,059人に対し1,289人、卸・小売・飲食業4,716人に対し1,190人、運輸・通信業848人に対し228人、金融・保険・不動産業586人に対し121人、サービス業5,210人に対し1,265人、公務138人に対し123人となり、建設業の求人難、サービス業の求人増が現われている。

### 5. 金融情勢

函館管内金融機関（都市及び地方銀行、第二地銀、信用金庫の合計）の平成3年3月末現在の預金残高は1兆1,091億6,500万円（前年同月比8.5%増）、これに対して貸出金総残高は7,901億5,100万円（同8.3%増）で預貸率は71.2%と前年同月に比べて0.2ポイントの下降。預金のうち定期性預金は8,461億4,300万円（同11.6%増）で預金残高に占めるウェイトは76.3%と前年同月より2.1ポイント上昇している。また貸出金のうち設備資金は2,571億1,100万円（同13.5%増）で、貸出金に占めるウェイトは32.5%と前年同月よりも1.5ポイント上昇している。

年間増加額は、預金が752億6,200万円の前年度より41.0%、523億4,800万円の減少。貸

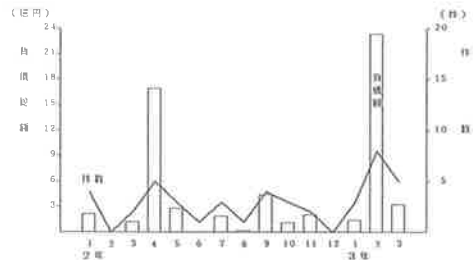
出金は721億3,900万円、同19.6%、176億400万円の減少となった。

### 6. 企業倒産状況（東京商工リサーチ調）

2年度の函館管内企業倒産（負債額1,000万円以上、内整理を含む）は38件で前年度より件数では、1件減少しているものの、負債額では57億3,300万円となり、前年度を25億6,500万円、81.0%上回り、5年ぶりに大幅増となった。

業種別では、製造業7件・19億3,500万円、建設業8件・17億9,000万円、卸売業7件・11億3,500万円、小売業7件・2億9,000万円、飲食業4件・2億4,300万円、その他5件・3億4,000万円となっている。

図-4 企業倒産状況



## 統計資料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高（10店） 平成3年4月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	3,224,414	79.9	102.4
身回品	724,158	83.6	110.9
雑貨	856,424	81.8	108.1
家庭用品	828,063	90.7	108.3
食料品	1,830,121	90.3	102.5
食堂・喫茶	164,852	84.3	102.7
サービス	119,849	79.6	134.2
その他	522,409	115.6	91.5
総計	8,270,290	85.4	103.8

※10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店をいう。

経済の窓

(平成2年度)

函館地域の  
経済動向

平成2年度函館地域経済動向は、公定歩合の引き上げによる金利高や湾岸戦争の影響による原材料の価格上昇など、マイナス要因も一部で懸念されたが、総体的には旺盛な企業の設備投資と個人消費に支えられ堅調に推移した。

1. 公共事業発注状況

2年度の函館管内公共事業発注状況は、総体の発注額が810億6,000万円で前年度実績を5.0%、42億5,000万円下回った。

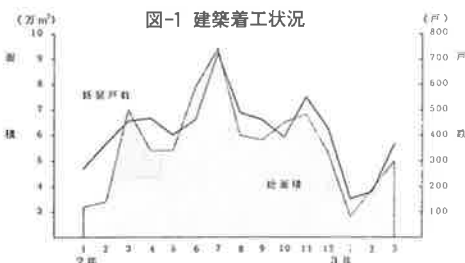
機関別にみると、函館開発建設部が384億1,700万円（前年度比1.2%増）、函館土木現業所が285億2,600万円（同0.3%増）とそれぞれ微増しているが、函館市では141億1,700万円（同25.3%、47億9,300万円減）で前年度実績を大幅に下回った。

2. 建築着工状況

2年度の函館市内建築着工状況は建築物床面積合計が700,105㎡で前年度に比べ0.7%減少しているが、うち住宅部分床面積は454,873㎡で同5.2%増加となった。

また住宅総戸数は5,484戸で同6.8%増加、うち新築住宅は5,087戸で同4.1%増加、増改築は397戸同58.2%増加と高い伸びを示した。

新築住宅の内訳は、持ち家1,261戸（前年



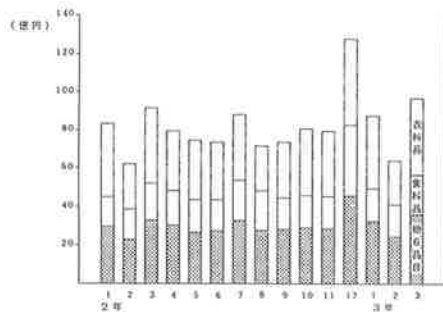
度比17.0%減)、貸家2,200戸（同13.9%減）、分譲1,531戸（同98.1%増）、その他95戸（同137.5%増）となった。

3. 個人消費

2年度の函館市内第一種大型店売上高は、総額で999億1,201万円と前年度より57億2,704万円、6.1%の増加となった。

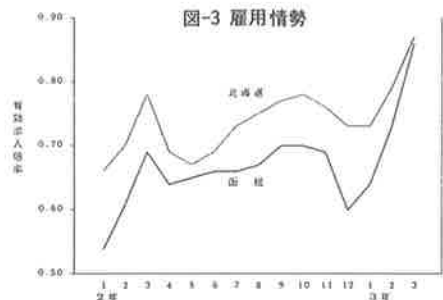
品目別では、主力の衣料品が395億2,934万円と前年度より2.6%増、もう一方の主力、食料品も233億5,771万円で同8.8%増とここ数年の好調を維持した。以下、家庭用品同1.7%増、身回品同15.4%増、雑貨同9.6%増、サービス同19.4%増と各品目とも前年実績を上回った。

図-2 大型店売上高状況



4. 雇用情勢

2年度の函館職業安定所管内の雇用情勢は月平均有効求職者数（常用）が前年度を9.2%下回る6,048人、月平均有効求人（常用）は4,133人と同14.6%増加しており、有効求人倍率は0.68倍で前年度より0.14ポイント上昇した。



新規求人数と充足数を産業別にみると、農・林・漁業が求人数92人に対し32人、鉱業41

# 店には商品の他にも顔があり！

前篇

和菓子製造販売「菜の花」

店主 高橋 台 一

地方の中大都市の商店や商品街は郊外型大型店の進出や外部資本の攻勢で、経営上の悩みも多いと思う。また地方都市の地盤沈下といった問題も起こっている。しかし、こうした悩みを新しい店づくり、街づくりで打開していこうという、若手の動きも全国的に盛り上がっているのではないだろうか。

私は神奈川県西部、小田原市の和菓子屋の三代目である。卸が主体であったのだが、六年前「菜の花」を開店、本格的に小売に取り組み始めた。新開発の季節の和菓子のおかげか、二階に設けた茶房でのイベントのおかげか、女性誌や陶器の雑誌にも取り上げられるようになり、ファンも多くなってきたのではないかと思っている。

少し自慢めくかもしれないが、ご容赦願って私の店づくりの実践記が、少しでも各地で努力している会員の参考になればと思ひ筆をとった。

小田原はJRで東京から約一時間四十分のなかなか二十万都市になりきれない中都市である。後北条の根拠地でお城もあって、かまぼこなどの名物もあるが、箱根という大観光地の玄関口、あるいは通過点といったイメージの街である。

私が二十年前、小田原に帰ってきた当時、道路事情が変わったりして、箱根行きの観光バス通りに面していた当社の本店（小売もやっていた）の付近は次第にさびれ、客足は小田原駅周辺へ移っていった。主体の卸の方はまずまずだったが、私は何と

か小売をやりたいと考えていた。自分の作った和菓子が客の口に入るのを見届けたい、作る喜びから売る喜びを得たい、そして人に喜んでもらいたいということで店そのものが私の「夢」だった。

ご他聞にもれず各種のセミナーや勉強会にも出たが、その特性のなき、利益率がどうの、どうすればもうかるか、などという内容にガッカリした。自分は本当に何をやりたいのか、何が好きなのか、という原点から始めたいと考え始めた。原点から考えれば責任を負うことができる。

あるとき、小田原商工会議所主催の産業祭で抹茶と和菓子のコーナーを提案し、実行したが、その中でお茶や焼物を普通の人が楽しめ、また使う楽しさをどうすれば提供できるのかわかったような気がした。

私は陶器が好きで、季節の野の草花や木が好きだったので、これを和菓子の中に取り入れ、組み合わせ、買う楽しみも演出できればと考え、駅周辺で何とか小売店を出したいと探していた。ファッション店が閉店して、そのあとに入る店もほぼ決まりかけていたがビルのオーナーをくどき落として、和菓子屋「菜の花」をオープンしたのである。

その当時、小田原の商人は自分の領域に満足しているように見え、街は内部からはなかなか変わっていかないように思えた。少し変わったかなと思うと、そこには外部資本のファーストフー

ド店ができてきているという状態だった。そこもファーストフード店でほぼ決まりかけていたのだが、小田原駅前のお城通りでよその街の人もひんぱんに通るので、ぜひ小田原の人間として「文化性」のある店をやりたいとくどいいたのである。

店づくりにあたっては、多くの友人たちを始めいろいろな出合いがあった。「菜の花」という名前も、シンプルな店舗設計もメインデザインもこうした人々との出合いがあったればこそ生まれたのだ。これは本当に幸運だった。

一階は、小売部門。実演コーナーを作り和菓子の製作を見せるようにした。桜餅のシーズンなら、桜の彩りや香り、あんの匂い、和菓子のこうばしさを目や鼻でも味わってもらおうと思っただのである。毎月の季節の味を楽しんでもらうため、そのシーズンの花や果物や木の葉を使った和菓子も開発した。当店の和菓子は日持ちのしない朝生菓子が中心であるが、そのほうがフレッシュな季節感を味わってもらえると思う。また「ナチュラル」で「ヘルシー」というトレンドにもマッチして、この季節菓子コーナーは人気が高い。

二階は茶房である。私は全国の中小の和菓子屋の茶房を見たが、まずほとんどが物置になっていた。茶房として機能していなかったのである。茶房をやるには、月の売り上げが百万円ではもうからない。計算上合わないからやめてしまおうのである。

しかし、自分の求めてきたものは、もうかる、もうからないを先に計算することではなくて、何をしたいのかである。「見る前に飛べ」だ。

普通、外階段にすれば集客数は上がると思うが、あえて外からはわかりにくい内階段にした。一度、一階の色とりどりの和菓子をチラッとでも見てもらいたかったのであるが、口コミでこの内階段の茶房の噂はすぐ広がっていったのである。やはり口コミというのはすごい。

茶房で使う器は当初、私が好きで集めていた骨董品を使っていた。器を揃える金もなかったし、自分で好きでもない安い器を客に出しては私の「原点」に反すると思ったのである。

茶房は今、コミュニティスペースとなつて数多くのミニイベントが行われている。ミニギャラリーとして、いろいろな個展を開いた。それも最初は、私の友人たちの作品展だった。陶器では伊賀焼の太平和正さん、アブストラクト（油彩）では一ノ瀬裕さん。こうした人たちのつながりから新しい出合いがあった。陶器では鯉江良二さん、赤地健さん、漆器では角偉三郎さん（輪島）など当りきつての作家をはじめ、画家、彫刻家写真家、ガラス作家 etc.。生花師の杉崎宗雲さんは、ダイナミックに野の花や木を生けてくれて人気がある。茶房で出す器もそうした作家展を通して陶器、漆器、花器と除々に揃っていった。

一番マスコミに取り上げられたのは、今春の佐藤勝信さんの「箱根のきのこアート展」だろうか。きのこの紋様の美しさを見出したというのが珍しかったのか、NHKテレビの放映をきっかけに、朝日、毎日、読売各紙や神奈川新聞にも取り上げられた。

「菜の花」を訪れたことのない人にも、この「情報」は「受信」され、これをきっかけに訪ねて来る人もいた。こうした和菓子以外の情報で当店を訪ねてくれることは、私が目指していた情報発信メッセージを送り続けることの一つの成果である。商品以外にも店はいろいろな切り口を持っている。それらを発信しなければならぬと私は思っている。

（つづく）

#### 【高橋台一（たかはし・だいいち）氏の略歴】

一九四七年、神奈川県小田原市生まれ。成蹊大学文学部卒。二年間パン作りの修業の後、家業の（有）光栄堂入社、八五年「菜の花」出店、店主。八九年光栄堂社長。小田原商工会議所青年部幹事。イベント企画集団「小田原評定衆・風組」代表。

人材確保はまず「退職金制度」の確立から!!

# 特定退職金共済制度

～ ご加入のおすすめ～

優れた人材の確保と定着率を高めるため、退職金制度は必要です。

**特定退職金共済制度** は、中小商工業者のための制度であり現在600事業所が採用、4,400名の従業員の皆様にご加入いただいております。

ぜひ、この機会にご検討の上ご加入いただきますようおすすめ致します。



## 制度の特色

### 加入資格

- ・ 函館商工会議所会員事業所で働く従業員の方で14歳7カ月から65歳6カ月の方を加入させることができます。
- ・ ただし、加入される場合は、全従業員を加入させるようにしなければなりません。(任意包括加入)

### 掛金

- ・ 月額1人1,000円から20,000円までを限度に加入できます。
- ・ 1口1,000円単位で加入口数を増加させることができます。
- ・ 掛金は全額損金又は必要経費に計上できます。(掛金は全額事業主負担)

### 給付金

- ・ 退職一時金…加入者が退職したときに支給されます。
- ・ 遺族一時金…加入者が死亡した時に支給されます。
- ・ 年金…加入期間10年以上で退職したとき、一時金にかえて希望の場合、10年間支給されます。

支給金額表 (月額掛金5,000円(5口)の場合)

給付金 加入期間	退職一時金	年金(月額)
5年	338,100円	
10年	825,800円	9,545円
15年	1,529,200円	17,675円
20年	2,543,700円	29,395円

注) 給付額は商工会議所退職金共済規約に基づく給付額ですが、経済変動等により将来改訂されることがあります。

★お問い合わせ、資料請求は函館商工会議所会員課 ☎(23-1181)まで